

話題の「新しい」の「モデル」が勢ぞろい
最新の「あの」モデル

「今よりもっと飛ぶ！」が 必ず見つかる 最新ドライバー

14 メーカー 30 モデル

一気試打！

毎年恒例「一気試打」のドライバー編。各メーカーの最新モデルは、フェース構造の進化や重量設計のアップデートで「飛び」と「やさしさ」が同時に底上げされるなど、話題作が目白押し。全30モデルをギアへの造詣も深い小野耕平コーチと、タイプの異なるアマチュア3人が試打チェック。4人とも、今の自分のドライバーよりも「飛ぶ!」「振りやすい!」と驚く、買い替えたくなるモデルが多数あり、今年はドライバーの当たり年なのかもしれない!



試打・解説 小野耕平

アマチュア試打者

シニア代表
長田光史さん



フッカー代表
編集M



スライサー代表
ライターI

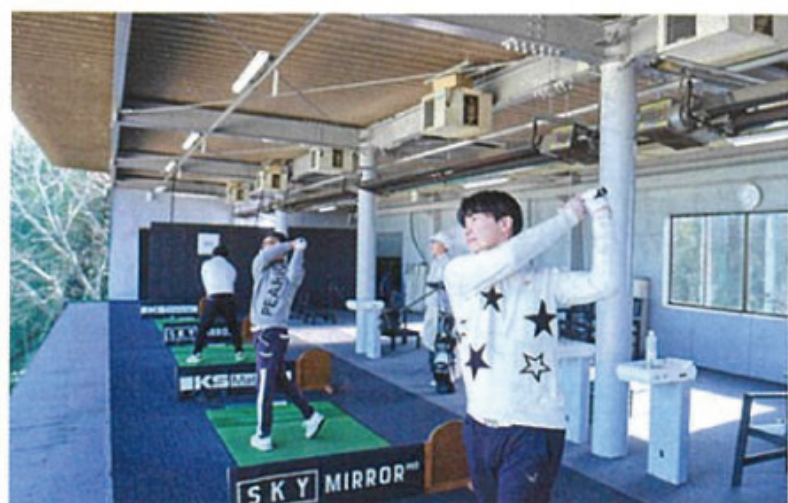


51歳、ドライバーのHS30m/秒後半、持ち球はフェード系。スイングは方向性重視で「マン振り」はほとんどしない。そのぶんクラブの力を借りて、しっかりボールをつかまえながら飛ばしたい!

HS40m/秒前後。持ち球はドロー。50歳をすぎて体と飛距離に衰えを感じているが「楽に飛ばばいいってもんじゃないよ」と、クラブや球筋に対してもこだわりは人一倍強いベテラン編集者。

HS42m/秒前後。持ち球はフェード。クラブ選びの基準は「結果重視」。スライスとスピン過多になることが多いため、ボールをつかまえてくれて、スピンを減らせるドライバーを模索中。

●おの・こうへい/1997年生まれ、茨城県出身。中央学院大ゴルフ部を経て、指導者の道へ進み、石井忍主宰の「エースゴルフクラブ」にてインストラクターを務める。レッスンのみならず、クラブに対しても研究熱心。的確なアドバイスでアマチュアゴルファーを上達へと導く。



キャロウェイ
QUANTUM ◆◆◆ MAX



Spec

●ロフト角/9、10.5度 ●重さ/約309g (ATHLEMAX 50・S) ●長さ/45.5インチ ●シャフト(フレックス)/ATHLEMAX 50 (S) など ●価格/11万8800円~



小野 Check

操作性と寛容性が
ちょうどいい

ツアーモデルのクレ味や操作性は残しつつ、460ccのヘッドサイズで寛容性もプラス。扱いやすさもありませんが、低スピンの打球はさすがのトリプルダイヤ系。ミスヒットでもスピンの増えにくいので、飛距離のロスも最小限になります。「強い弾道で攻めたいけど、小ぶりのヘッドが苦手」という人に試してほしいです。

トリプルダイヤモンドに寛容性をもたせているので、そのぶんやさしく、楽に打てますがスピン量はしっかりと抑えられている。スピンの減った打ち出し角が高いので、使えるゴルフアワーは広そうです。



編集 M

やさしさアリの
スピン減

キャロウェイ
QUANTUM ◆◆◆



Spec

●ロフト角/8、9、10.5度 ●重さ/約309g (ATHLEMAX 50・S) ●長さ/45.5インチ ●シャフト(フレックス)/ATHLEMAX 50 (S) など ●価格/11万8800円~



小野 Check

打球を自分で
コントロールできる

450ccの操作性重視ヘッドに「360度カーボンシャシ」を組み合わせ、重量配分の自由度を高めたツアーモデルです。小ぶりの顔で構えやすく、打球を意図的に打ち分けたい人に最適。低スピンの強いボールが打ちやすく、叩いても左が怖くありません。競技ゴルファーが“ここぞ”と攻めなければならないときに安心感を与えてくれます。

打球が左にいかない安心感から怖がらずにクラブを振り切れるので、結果的にヘッドスピードが上がる。打音は低めの「バシッ」とした音で、フェースへの“乗り感”も強く、心地よいフィーリングで打てます。



ライター I

締まった打音が
心地いい

キャロウェイ
QUANTUM MAX



Spec

●ロフト角/9、10.5、12度 ●重さ/約310g (ATHLEMAX 50・S) ●長さ/45.5インチ ●シャフト(フレックス)/ATHLEMAX 50 (R, SR, S) など ●価格/11万円~



小野 Check

「やさしさ」と「飛び」を
高次元で両立

業界初の異素材3層構造「TRI-FORCE」フェースでボール初速が底上げされ、AI設計の弾道補正がオフセンターヒットにも強くしています。ミスヒットしてもスピンの増えにくく、曲がりを抑えて前へ伸びる弾道が気持ちいい！ やさしさと飛びの両方を求めるゴルファーにオススメ。プロの使用者も多いですが、一般アマチュアでも十分使いこなせます。

フェースの3層構造のうちのひとつ「カーボン」が入っていることが打感でも感じられます。復元する力を発揮し、ボールを強く押し出してくれる感触がする。それによってボール初速が上がり飛びますね。



編集 M

フェースに
「押し感」がある

キャロウェイ
QUANTUM MAX FAST



Spec

●ロフト角/9、10.5、12度 ●重さ/約285g (SPDSTAR 40・S) ●長さ/46インチ ●シャフト(フレックス)/SPDSTAR 40 (R, SR, S) など ●価格/11万8800円



小野 Check

自然なフェースターンで
つかまる！ 飛ばせる！

クラウンもソールもカーボンの「360度カーボンシャシ」で軽量化し、振り心地がとにかくいい！ 自然にヘッドスピードが上がり、ボールのつかまりもいので楽に飛ばせます。軽量でもヘッドがブレにくく、当たりが薄くても打球がしっかり高く上がる。まだまだゴルフをガンバリたいけど、少し飛距離が落ちてきたな、という人に積極的にオススメできます。

ヘッドのすわりがよく、ストレスなくアドレスに入れるのが好印象。無理なくインパクトに向かってフェースが自然に返ってきてくれるので、打球を左に打ち出し、右に戻ってくるフェードが打てました。



シニア長田

アドレスでの
すわりがいいのが◎

キャロウェイ
QUANTUM MAX D



Spec

●ロフト角/9.5、10.5、12度 ●重さ/約309g (ATHLEMAX 50・S) ●長さ/45.5インチ ●シャフト(フレックス)/ATHLEMAX 50 (R, SR, S) など ●価格/11万円~



小野 Check

キャリーを伸ばして
大きく飛ばせる

つかまりを優先したドローバイアス設計。大きめの投影面積で、アドレスしたときの安心感が強い。ボールのつかまりがいいうえに高弾道のボールになるので、ビッグキャリーで飛距離をかせげる。「TRI-FORCE」でAIのコントロールが増え、オフセンターヒットでもしっかりとコースの幅にボールが飛んでくれるのが、安心感をさらに上げてくれます。

インパクトでボールをしっかりつかまえてくれますが、つかまりがほどよく、大きく左に曲がる逆球のミスが出ない。フェードヒッターの私にとってはとても心強く、コースでも安心して打てそうです。



ライター I

ほどよい
つかまり具合が◎

ミズノ
JPX ONE



Spec

●ロフト角/9、10.5度 ●重さ/約310g (TENSEI BLUE MM D・S) ●長さ/45.5インチ ●シャフト(フレックス)/TENSEI BLUE MM D (SR, S) など ●価格/9万2400円~ ※3月6日発売



小野 Check

インパクトの「潰れ感」で
ラインを出せる

高初速を狙った特殊素材の「ナノアロイ」を使用したフェース設計で、インパクトで「ムギュッ」とボールが乗る独特の打感がクセになります。ボールを潰しながら押し込む感覚があるので、ラインを出しやすい。それでいてスピンの増えにくいのが◎。しっかり振っても吹けずに打球が前へ伸びてくれます。インパクトの瞬間、自分の感性を活かしたい人ほどハマるタイプです。

打球が簡単に高く上がりやすく、安心感をもってスイングできます。スイング中のヘッドの挙動が「素直」なので、再現性が高くなる。練習場よりもラウンドで真価を発揮しそうなドライバーですね。



ライター I

再現性が高い
インパクトの◎

ダンロップ
ゼクシオ 14+



Spec

●ロフト角/9、10.5度 ●重さ/300g (SPEEDER NX DST for XXIO・S) ●長さ/45.75インチ ●シャフト (フレックス) /SPEEDER NX DST for XXIO (R, SR, S) ●価格/10万1200円



小野 Check
ゼクシオだけどほんのり「アスレチック」

“簡単”なイメージはそのままに、スタンダードモデルよりもさらに強い弾道で飛んでいきます。シャフトもスタンダードモデルよりしっかりめで、ヘッドスピード42m/秒ぐらいまでは使いこなせよう。基本性能は「ゼクシオ」ですが、少しアスレチックな要素があるので、アクティブシニアにもぴったりハマるのではないのでしょうか。

自然なフェースターンで、何もなくてもボールがつかまってくれます。シャフトも頼りなさはまったくなく、スイング中ずっと、心地よい張り感を感じたまま振っていけるのがいいですね。



ライター I

張り感のいい
気持ちのいい
張り感がある

ピン
G440 K HL



Spec

●ロフト角/9、10.5、12度 ●重さ/約275g (SPEEDER NX GREY 40) ●長さ/46インチ ●シャフト (フレックス) /SPEEDER NX GREY 40など ●価格/11万8800円



小野 Check
ピンならではの安定感は
軽量モデルでも健在

G440 Kの高MOI設計をそのままに、HL専用の軽量ウェイト&軽量シャフトで総重量を最適化。振り心地がよく、軽量モデルにありがちな“頼りなさ”はありません。高弾道でボールのつかまりもいいので、キャリー不足を解決しやすい。強く振らなくてもボールを遠くまで飛ばせる安心感をもてるので、バランスよく振り切れます。

軽量モデルですが、いい意味であまり軽さを感じず、クラブの存在をしっかりと感ぜながら振れます。オートマチックに高弾道が打てるのも、打球が低くなりしがちな私にとってはグッドポイントでした。



シニア長田

オートマチックに
高弾道が打ちやすい

ピン
G440 K



Spec

●ロフト角/9、10.5、12度 ●重さ/約301g (ALTA J CB BLUE・SR) ●長さ/46インチ ●シャフト (フレックス) /ALTA J CB BLUE (R, SR, S) など ●価格/11万8800円



小野 Check
「平均キャリー」が
ブレない安定感

「デュアル・カーボンフライ・ラップ」と「フリーホーゼル」で全体を軽量化し、後方に高比重のウェイトを配置することでピン史上最高のMOIを実現しています。打音はやわらかく、とにかく曲がらない安心感はピンならではの。オフセンターヒットでもフェースがほとんどブレないので、平均キャリーがブレないのが強みです。

非の打ちどころがなかったその1。今回は本当に「飛ぶ」と「曲がらない」を両立したドライバーが多かったが、そのなかでも“飛距離性能”で一步リードしている。ビッグキャリーを連発しました。



編集 M

圧倒的1位!
その1

ヤマハ
RMX DD-2



Spec

●ロフト角/9、10.5度 ●重さ/300g (TENSEI GR 50・S) ●長さ/45.5インチ ●シャフト (フレックス) /TENSEI GR 50 (R, SR, S) など ●価格/9万6800円



小野 Check
アドレスとインパクトに
安心感を与えてくれる

投影面積が少し大きな、いわゆる“やさしい顔”なので、アドレスでの緊張感が少なくなる。オフセンターヒットにもとても強いです。ヤマハらしく打音にもこだわっており、インパクトでの心地よいサウンドは、他メーカーの追随を許しません。低スピンのボールが打ちやすいですが、少なくなりすぎることはなく、ほどよいスピン量で飛びます。

フェースの“スクエア感”が強く、アドレスで迷いなく目標方向にヘッドをセットできます。とにかく直進性が高く、ボールがグングンと前に飛んでくれるので平均飛距離が上がりそうです。



ライター I

フェイスを目標に
向けやすい

ヤマハ
RMX DD-1



Spec

●ロフト角/9、10.5度 ●重さ/310g (TENSEI FR 60・S) ●長さ/45.5インチ ●シャフト (フレックス) /TENSEI FR 60 (S) など ●価格/9万6800円



小野 Check
吸いついて飛び出す
強い初速感

インパクトでボールがフェースに吸いついてから飛び出すような感覚で、ボール初速が上がる。フェースに乗っている時間が長いぶん、少しボールをつかまえやすい傾向にあります。といっても、つかまりすぎて左に巻いてしまうようなボールが出ないのが魅力。左へのミスが怖がらずに振り切っていけるので、強い「ナチュラルドロ」が打ちやすいです。

私の場合、DD-2よりもやや上級者向けなのに、DD-1のほうが真っすぐ飛びました。「あっ！ 打点がズレた」と思ったインパクト感でも打球は仮想フェアウェイの幅に収まってくれる安定感があります。



編集 M

打点がズレても
真っすぐ飛ぶ

ダンロップ
ゼクシオ 14



Spec

●ロフト角/9.5、10.5、11.5度 ●重さ/281g (MP1400・R) ●長さ/46インチ ●シャフト (フレックス) /MP1400 (R2, R, SR, S) ●価格/10万1200円



小野 Check
「ゼクシオらしさ」に
飛距離性能をプラス

構えた瞬間に「ちゃんとボールがつかまりそう」という安心感があります。軽量設計で振り抜きが軽く、爽やかな弾き感と打音はゼクシオならではのですね。クラウンにつけられた「ニューアクティブウイング」もこの振り抜きのよさを助けているように感じます。前作よりスピン量が抑えられて風にも強くなり、飛距離性能が上がった印象です。

シャフト (フレックスS) は40グラム台と軽いですが、インパクトでしなやかに戻ってくるのでボールをつかまえやすい。思ったよりも強いボールが出るのは、いい意味でゼクシオへの期待を裏切られました。



シニア長田

シャフトの
しなやかさも絶妙

最新ドライバー
14
メーカー
30
モデル
一気試打!

PXG
Lightning Max 10K+



Spec

●ロフト角/9、10.5、12度 ●重さ/203g (ヘッド単体) ●シャフト (フレックス) /Mitsubishi Diamana V3 PXG 50/60 (R, S) など ●価格/10万5600円~



小野 Check
どこに当たっても
変わりにくい

慣性モーメントが高く、フェースのどこで打っても打球がねじれません。とくに驚いたのが「ミスしても打音が変わらない」という点。慣れるまでフェースのどこに当たったのか正直わかりませんでした(笑)。3カ所のウェイトの変更で弾道調整ができるので、その日の自分にフィットさせられるところも長所ですね。

なんといっても初速性能が高い！まさに「稲妻」のようにボールが飛んでいきます。かといって初速が速いモデルにありがちな、ボールがフェースをすべる感覚はまったくないのが好印象です。



ライター I

電光石火の
初速感

ホンマ
TW777 MAX



Spec

●ロフト角/9、10.5、12度 ●重さ/約306g (VIZARD for TW777・S) ●長さ/45.5インチ ●シャフト (フレックス) /VIZARD for TW777 (R, SR, S) など ●価格/10万7800円~



小野 Check
シャローフェースが
スイング矯正にも

シャロー形状で、見た目からボールが高く上がりそうな雰囲気を感じる。ボールを「かち上げる」動きが自然となくなるので、スイングの矯正にもプラスにはたります。寛容性が高く、高弾道のストレートボールでキャリーをかかげるので、ドライバーでガンガン攻めたい人、ドライバーに苦手意識がある人、どちらにもオススメです！

デザインすっきり、構えてしっくり、振ってもしっくり、すっきり。アドレスしたときの見た目から振り切るまでなんの違和感もない。打感と打音もいいので気持ちよく振れる。フィーリング面はすべて◎です。



編集 M

すっきり、
しっくり感の極み

ホンマ
TW777



Spec

●ロフト角/9、10.5度 ●重さ/約311g (VIZARD BLUE 50・S) ●長さ/45.5インチ ●シャフト (フレックス) /VIZARD BLUE 50 (R, S) など ●価格/10万7800円~



小野 Check
シャフトとの
マッチングが◎

自社生産している純正シャフトの完成度が高く、ヘッドとのマッチングがいい！もちろんヘッド単体の性能もいいのですが、このマッチングのよさがボール初速の速さに反映されていますね。460ccのフルサイズですが、ヘッドのシェイプがすっきりしてほんのり操作性もある。まさに「万能型」の1本に仕上がっています。

アドレスしたときの顔がシャープで、球筋をコントロールしやすいです。とはいえ、ヘッドがピーキーに動きすぎるわけではないので「ほんのり」とドローやフェードを打ち分けられるのがちょうどいい！



ライター I

ちょうどいい
操作性

PXG
Lightning Tour Mid



Spec

●ロフト角/8、9、10.5度 ●重さ/203g (ヘッド単体) ●シャフト (フレックス) /Mitsubishi Diamana V3 PXG 50/60 (R, S) など ●価格/10万5600円~



小野 Check
ツアーモデルデビューは
コレで決まり!?

ヘッドサイズは「やや大きめ」で、寛容性と操作性のバランスがとれたモデルです。新開発の「チューンドフェース」によって中弾道の強い球を打ちやすく、クリアな打音も高初速感をより演出してくれています。いわゆる「プロ仕様」の難しさはまったくないので「今年こそツアーモデルデビューをしたい」という人にもぴったりです。

ツアーモデルを少しやさしくしたモデルですが、ミスヒットへの強さに加えて、フェード、ドローの打ち分けができる。この操作性、コースでは武器になりそうなので、実戦で使いたいと思う1本です。



編集 M

この操作性、
捨てがたい……

PXG
Lightning Max Lite



Spec

●ロフト角/10.5、11.5度 ●重さ/189g (ヘッド単体) ●シャフト (フレックス) /Mitsubishi Diamana V3 PXG 50/60 (R, S) など ●価格/10万5600円~



小野 Check
ヘッドの走りが
振り遅れを防ぐ

軽量設計と高MOIを高次元で両立しているのも、まさに「楽に飛ばせる」モデルといっても過言ではありません。フェースがシャローなので高弾道が打てる。打感・打音もとてもいいです。インパクト直前からヘッドがシュッと走って球が高く上がるので、振り遅れての右ブッシュやスライスが出やすい人にも、ひとつの選択肢になり得るでしょう。

インパクトでの球離れがよくて、初速の速さを手元の感触から感じることができました。弾道も強め、私の場合、中弾道で目標に向かって糸を引くように伸びていく。10歳くらい若返った気分になりましたよ！



シニア長田

高初速の強弾道に
びっくり

ホンマ
BERES



Spec

●ロフト角/9.5、10.5、11.5度 ●重さ/約291g (ARMRQ FLIGHT・S) ●長さ/45.75インチ ●シャフト (フレックス) /ARMRQ FLIGHT (LIGHT R, R, SR, S) など ●価格/17万6000円~



小野 Check
おだやかなクラブ挙動で
ミート率がアップ

部位ごとに肉厚を調整したカップフェースが高初速エリアを広げ、フェースのどこで打ってもボールが勢いよく飛び出していく。専用シャフトも工夫が凝らされていて、手元側の最外層にはアルミ軸を使用した素材を採用。クラブの挙動がとても安定するので、結果的にミート率が上がりやすく、自分のポテンシャルを最大限に引き出しやすいです。

インパクトにかけてシャフトが「スパーン」としなり戻ってくれるので、高弾道のボールが打ちやすい！とはいえずシャフトが「暴れる」わけではないので、つかまりすぎる心配もほとんどありません。



シニア長田

しっくり
動けど暴れない

最新ドライバー
14
メーカー
30
モデル
一気試打!

つるやゴルフ
AXEL GOLD PREMIUM



Spec

●ロフト角/10.5、11.5度 ●重さ/271g
(AXEL GOLDデュアルフレックスカーボン・S) ●長さ/46インチ ●シャフト(フレックス)/AXEL GOLDデュアルフレックスカーボン(R、S) ●価格/13万7500円
SLEルール適合外モデル
※2月27日発売



小野 Check
ルール適合外が
こんなにすごいとは!

ヘッドもシャフトもルール適合外。超高反発の「OverLimit CUP FACE」はどこで打っても高い初速性能を発揮。とくにヒール寄りのあたりにはめっぽう強い! シャフトの完成度も高く、こちらもルール適合外になりますが、正面側と横側でシャフトのしなり方が異なる設計は、どう振っても挙動が安定するので迷うことなく振り切っていけます。

シャフトがヒール側から少しフェースセンター寄りに挿さっているのが、インパクトにかけてのフェースターンがしやすい。ボールのつかまりがとてもいいので、私はほかのクラブより15ヤード以上飛びました!



シニア長田

飛距離性能が
圧倒的!

グローブライド
ONOFF DRIVER KURO



Spec

●ロフト角/9.5、10.5度 ●重さ/310g (CBT: 626D・S) ●長さ/45.5インチ ●シャフト(フレックス)/CBT: 626D (S) など ●価格/9万6800円~



小野 Check
パワーフェードが
簡単に打てる

構えた顔がシャープでターゲットに合わせやすいので、ボールをコントロールできるイメージがありつつ、安心感も得られます。打球に強さが出る低スピンの設計は叩いても球筋をコントロールしやすく、風にも強い。とくに、フェードを打ったときでもスピンの増えすぎないのが好印象。アスリート志向で「顔と球の強さ」を重視する人にオススメです。

ボールのつかまりがいいのに左にこないで、どんどん振れる。結果的に飛距離はぐんぐん伸び、今回のなかで1番飛んでいました! シャフトの挙動もクセがなく、ストライクゾーンが広そうです。



ライター I

安定感と
飛距離性能が抜群

マジェスティ ゴルフ
プレステジオ 14



Spec

●ロフト角/9.5、10.5、11.5度 ●重さ/263g (LV770・S) ●長さ/46インチ ●シャフト(フレックス)/LV770 (R、SR、S) ●価格/28万500円



小野 Check
初速・打ち出しの安定が
キャリーも安定させる

軽量でもしっかり振り心地が整った専用シャフトで、楽に振れて高弾道の打球が打てます。スムーズに振れるのでミート率も上がりやすく、結果が安定する。フェースには希少性の高いプレミアムなチタン素材を採用していて、どこに当たっても初速の変化を少なくしている。つねに同じキャリーを出せるので、飛距離を計算することができます。

軽量のぶんヘッドスピードが上がりましたが、飛距離が伸びるポイントとなったのはフェース。打感は硬めに感じますが、インパクト時のボールの弾力が強く、打球も強くなる。ボール初速が上がりますね。



編集 M

強く弾く
フェースが魅力

マジェスティ ゴルフ
サブライム



Spec

●ロフト角/10.5、11.5度 ●重さ/257g (MAJESTY SUBLIME LV940・SR) ●長さ/46インチ ●シャフト(フレックス)/MAJESTY SUBLIME LV940 (R、SR) ●価格/55万円
SLEルール適合外モデル



小野 Check
「マジェスティならではの」
が詰め込まれた1本

澄んだ打音が心地よく、ボールがスッと高く上がってくれます。そして、このデザイン性はマジェスティならではの! 構えた瞬間から気分が上がるクラブですね。もちろん、クラブとしての性能も申し分なし。高弾道かつ高初速でキャリーをかせげるので、飛距離不足を感じてきた層が自信を取り戻すきっかけになる1本かもしれません。

クラウンやソールのデザインから溢れ出るラグジュアリー感とは裏腹に、打音や打感はしっとりとしていて、コントロールも効きます。シャフトの挙動も安定しており、無理なく振れますね。



シニア長田

ただ高級な
だけじゃない!

グローブライド
ONOFF DRIVER AKA



Spec

●ロフト角/10.5、11.5度 ●重さ/300g (SMOOTH KICK MP-526D・S) ●長さ/44.75インチ (R2)、45.5インチ (R、SR、S) ●シャフト(フレックス)/ONOFF SMOOTH KICK MP-526D (R2、R、SR、S) など ●価格/9万6800円~
※3月6日発売



小野 Check
ドロウの打ちやすさは
天下一品

ボールをつかまえてドロウボールを打ちたい人にぜひ試してほしい1本。「高剛性ソールプレート」と「NEWパワートレンチ」で、インパクトのパワーを余すことなくボールに伝えられる。深重心の大型ヘッドはボールのつかまりがよく、フェースが開いてスライスになる傾向の人にとっては、右へのミスを減らしながら飛距離を伸ばせますね。

ミスヒットに寛容なヘッド、シャフトもいいインパクトへと導いてくれる。グリップも滑りにくくソフトに握れてリキミが抜ける。ヘッドからグリップまでのトータルでやさしさを感じることができます。



編集 M

端から端まで
やさしさ満載

プロギア
SUPER egg



Spec

●ロフト角/10.5度 ●重さ/280g (26 SUPER egg・M-40) ●長さ/45 (M-35)、45.5インチ (M-37、M-40) ●シャフト(フレックス)/26 SUPER egg (M-35、M-37、M-40) ●価格/15万1800円
SLEルール適合外モデル
※3月13日発売



小野 Check
超大型ヘッドだけで
振りやすさがある

独自の「βチタンUカップフェース」と独創的な六角形の高剛性ボディが、驚異的な高初速を生み出す。気づいたら自分が思っているよりもはるか遠くへボールが飛んでいるのにビックリ! ヘッドサイズは500ccで慣性モーメントを最大限まで向上させていますが、振りづらさや動かしづらさは感じない。多くの人に馴染みやすいと思います。

最初は個性的な形状に戸惑いましたが、打ってみると打球が全部そう! 高弾道ですが「吹けている」感じはなく、打球は前に飛んでいく。打ち続けると形状は気にならなくなってしまいました(笑)



シニア長田

形状は独特だが
打球が素晴らしい

最新ドライバー
14
メーカー
30
モデル
一気試打!

ブリヂストン ゴルフ
BX2HT



Spec

●ロフト角/9.5、10.5度 ●重さ/303g (Diamana BS50 II・S) ●長さ/45.5インチ ●シャフト (フレックス) /Diamana BS50 II (R、SR、S) など ●価格/9万3500円～



小野 Check
ドロースタイルで
つかまえて飛ばす

フェースはスクエアで構えやすいですが、ボールのつかまりがとてよく、ハイドロでキャリーをかせぎ大きく飛ばせるモデル。トゥ、ヒール側の反発が強く、飛距離ロスが少ないです。ヘッドの投影面積は大きめですが、振り抜きは軽やか。弾道調整機能でボールのつかまり具合や打ち出し方向をアレンジしたら、より自分好みの球筋が打てますよ。

「上がる、つかまる、再現性が高い」というやさしさの3拍子がそろっています。インパクトにかけてトゥ側がボールを包み込んでくれるような動きをするので、自分でフェースターニングする必要がありません。



ライター I

やさしさの
3拍子がそろって

フォーティーン
DX-003



Spec

●ロフト角/10.5度 ●重さ/312g (FT-6dG) ●長さ/45.25インチ ●シャフト/FT-6dGなど ●価格/11万円



小野 Check
スライサーほど
大きく飛ばせる

スライスを抑えてボールの直進性をアップさせたい人には、ぜひ試してもらいたいドライバーです。重心深度が深く、打点がバラついても打球を高く、真っすぐ飛ばす力があります。シャフトもカット系の軌道のプレーヤーを想定して作られたオリジナルシャフトなので、スライサーのスイングの悪い部分をしっかりとカバーしてくれます。

シンプルなデザインで、クラブ全体に「硬派」な印象があります。しかし、実際に打ってみると強い弾道でラインを出していける楽しさがある。こういう「いぶし銀」なクラブを使うのもアリですね。



シニア長田

しっかり振りたく
なる硬派クラブ

フォーティーン
DX-001



Spec

●ロフト角/10.5度 ●重さ/308g (FT-6dM) ●長さ/45.75インチ ●シャフト/FT-6dMなど ●価格/11万円



小野 Check
スピが入って
弾道が安定する

特徴的なハイバックはフォーティーン tradition ですね。近年のマーケットの傾向に反し、意図的に「スピンを入れる」設計になっています。じつはアマチュアはスピン量不足になっているケースも多く、このようなドライバーがハマるゴルファーは少なくありません。インサイドアッパーに振り抜けば、きれいなドロースタイルが打ちやすいドライバーです。

10.5度のロフト以上に球が高く上がる。ときたま右に曲がる球が出るので左に飛ばすくらい叩いてみましたが「001」は振りちぎるほどよくて、ヘッドの加速力が上がり、ハイドロースタイルで飛ばせるモデルでした。



編集 M

左に飛ばしたい
くらい叩ける

テラーメイド
Qi4D MAX LITE



Spec

●ロフト角/9、10.5、12度 ●重さ/275g (REAX 40 Mid Rotation Blue・SR) ●長さ/45.5インチ ●シャフト (フレックス) /REAX 40 Mid Rotation Blue (R、SR) など ●価格/10万7800円～



小野 Check
高強度アルミで
ヘッドを大幅に軽量化

「まだまだしっかり振れるけど、ヘッドスピードをより上げていきたい！」という人に「ドンズバ」です。ボディに高強度かつ比重の軽い、軍事グレードのアルミを使っているため、フィニッシュまでよどみなく振り切れます。軽量でもヘッドが暴れにくいので、インパクトのタイミングがズレたりブレたりしにくく、ドロースタイルが打ちやすいですね。

スポーティなルックスなので、軽量モデルっぽくないのがいいですね。スピンが少ない弾道になるため、打った感触よりも実測データが飛んでいました。無理な強振をすることがなくなりそうです。



シニア長田

スポーティな
デザインと球筋

テラーメイド
Qi4D



Spec

●ロフト角/8、9、10.5、12度 ●重さ/308g (REAX 60 Mid Rotation Blue) ●長さ/45.5インチ ●シャフト (フレックス) /REAX 60 Mid Rotation Blue (S) など ●価格/10万7800円～



小野 Check
弾道調整の
幅の広さを活かしたい

顔がシャープでアライメントがとりやすく構えやすい。テラーメイドらしいボール初速性能の高さに加えて、打感がいいのがグッドポイント。「もっちり」とした打感でボールがフェースに乗ってくれます。ウェイトは4つもついているので弾道調整の幅が広いのも、スイングが日替わりになってしまうアマチュアにはプラス要素になりそうです。

ソール側がとてシンプルでデザインになって、個人的には好みの顔。テラーメイドの代名詞ともなりつつあるカーボンフェースは、やはりスピンレスで「飛ばす！」というイメージがわいてきます。



ライター I

飛ばすイメージが
わいてくる

ブリヂストン ゴルフ
BX1ST



Spec

●ロフト角/9.5、10.5度 ●重さ/312g (VENTUS BS6 II・S) ●長さ/45.5インチ ●シャフト (フレックス) /VENTUS BS6 II (S) など ●価格/9万3500円～



小野 Check
コンパクトヘッドは
飛距離性能も高い

455ccのヘッドサイズは少しだけ小さいですが、構えるともっと引き締まって見える。コントロール系モデルらしい操作性はもちろんのこと、進化した「バイティングフェース 2.0」と「カーボンセミモノコックボディ」で低スピン化し、飛距離性能も高い。打音も締まっていて気持ちがよく、どんどん振っていきたくなるドライバーです。

セールスポイントの「バイティングフェース 2.0」のボールがフェースに食いついて滑らない効果は、こんなに曲がらないのか！と感心しました。オフセンターヒットへの強さはトップクラスです。



編集 M

フェースの効果は
本当だった

最新ドライバー 14 メーカー 30 モデル 一気試打!

「フェース構造」と「重量設計」で

やさしさのフェーズが 次なるステージにアップした!

最新ドライバーを打ち「フェース構造」と「重量設計」の進化が、やさしさの質を一段上げたと感じました。「チタン×カーボン」など異素材の組み合わせやAI設計で、フェース全体のはたらしを最適化する流れが強くなり、芯を外してもボール初速が落ちにくい。ミスでスピンの増えが吹ける、打点ズレで曲がる。そんなミスショットが目に見えて減っています。

さらに、クラウンやホーゼル周りの軽量化で余剰重量を後方・周辺へ再配分し、軽量でも高MOI（慣性モーメント）になっているモデルも増加。軽量でも当たり負けしにくくなったのは、多くのゴルフアに恩恵があるはず。また、ツアー系でも「扱いやすさ」が薄れ、一般アマチュアでも「アスリートモデル」を使いこなせる傾向がさらに強くなってきました。

キャロウェイの「クアラム」のように兄弟モデルが多い場合は、慣性モーメントと重心位置による「つかまり具合」と「低

スピン性能」に加え、調整機能の幅の広さで選びたい。右方向へのミスが多いならドロースピンアス、左が怖いならロースピン系が一般的に合いやすいですが、スイングによっては「逆」のパターンもあります。多様化しているぶん、試打やフィッティングが、間違いのないクラブ選びへと導いてくれるでしょう。



基本的には「ボールをつかまえて飛ばす」ドライバーがアスリートモデルも含めて多い傾向。自ら「つかまえる」必要はないため一般アマチュアでも使えるアスリートモデルが増えてきた



軽量でもシャフトの進化や「クラブ全体」で振りやすさを向上させる工夫によって、しっかりと振り切れるものが増えた



軽量モデルも「頼りない」とは感じませんね

アマチュア
試打者が
選ぶ

「俺の〇〇」 ナンバー1!

アマチュア試打者には、今回の30本のなかから「俺の〇〇」ナンバー1を選んでもらった! まずは飛距離! そして、操作性や安心感など、さまざまな視点で選ぶ「ナンバー1」もクラブ選びの参考にしてほしい。



安心感
ナンバー1

キャロウェイ
QUANTUM
MAX FAST



シニア代表
長田さん



打点ブレにも強く、どこに当たっても仮想フェアウェイの幅に飛んでくれるので、安心して振り抜いていきます。ヘッドスピードも普段より上がる。ヘッドのすわりがよく、ストレスなくアドレスに入れるのもいい。アドレスからフィニッシュまで、安心感抜群です。

飛距離
ナンバー1

ピン
G440 K HL



私は「G440 K HL」がもっとも飛びました! 軽量モデルですが、クラブの重心がしっかりとインパクトをサポートしてくれる感じで、力がボールへ効率よく伝達される気がします。高く打ち出されたボールが、なかなか落ちてこないのはうれしいですね!

操作性
ナンバー1

ホンマ
TW777



スライサー代表
ライター I



球筋を自ら作るイメージが出しやすく、打球をドロー、フェードと左右へ意図的に曲げるだけでなく、ティーを低くしてライン出しするなど、高低も簡単に打ち分けられたのがシンプルに楽しかった。ミスヒットしたときの「ケガ」の少なさもグッドポイントです。

飛距離
ナンバー1

グローブライド
ONOFF KURO



とくに何も意識しなくてもボールのつかまりがよく、中高弾道の低スピンのボールで飛距離が大きく出てビックリ! フェードヒッターの私ですが「ONOFF KURO」では普通に打つとつかまったフェード、スイング軌道を変えたらドローも打てました!

実戦力
ナンバー1

ダンロップ
ゼクシオ 14+



フッカー代表
編集 M



ピンの「440 K」で「圧倒的1位のその1」とコメントしていますが、これが「その2」です。「実際にコースで使うエースにするなら……」をこれとピンの2本で延々と悩みましたが、打感と打音のフィーリング面でのよさでやや上回る「14+」を1位にします!

飛距離
ナンバー1

つるやゴルフ
AXEL GOLD
PREMIUM



飛ぶな、と思うドライバーは何本もありましたが、それよりもさらに10ヤード飛ぶんですね。ヘッドだけでなくシャフトまでルール不適合にすると、こんなにも飛ぶのかと圧倒的な飛距離性能に驚かされました。みなさんにもこの飛びを、打って体感してほしいです!